



国際木材保存会議（IRG）年次大会参加への助成

1. 助成の趣旨

公益社団法人日本木材保存協会では、IRG年次大会を2021年に日本に誘致することを計画しています。日本での開催を円滑に進めるため、多くの方々が年次大会（2017～2020年）に参加し、研究発表の内容などを把握して下さることが必要と考え、本助成を行なっています。

2018年のIRG年次大会は、南アフリカ共和国のヨハネスブルグで4月29日～5月3日に開催されますので、是非とも御応募下さい。なお、2017年のIRGベルギー大会では、大学院生2名に対して助成を行いました。

2. 応募の条件

応募者は、2018年のIRG年次大会にて木材保存に関連する研究（口頭発表又はポスター発表）を発表することが条件です。応募者の年齢は定めません。

3. 助成金額

助成者数は年間2名で、助成金は10万円/人と致します。

4. 応募締切日

平成30年3月1日(木)

5. 申込書類と応募方法

当協会ホームページの『国際木材保存会議（IRG）年次大会参加への助成』にある申込用紙（WORD形式）をダウンロードして、ご記入の上、当協会事務局鈴木昭 jwpa-2@mokuzaihozon.org へ添付してお送り下さい。

6. 選考方法

選考委員会において選考を行い、助成者を決定し、速やかに応募者全員にご連絡します。

7. 報告について

助成者は、当該 IRG 年次大会の内容を、当協会機関誌「木材保存」に「情報」として報告して下さい。

公益社団法人日本木材保存協会
国際木材保存会議年次大会参加への助成申込書

平成 年 月 日

公益社団法人日本木材保存協会

会長 鮫島正浩 殿

申込者 氏名
所属
住所
電話
メール

研究発表のタイトル	(英文) (和文)
著者名	(和文)
要旨 (100字程度)	(和文)
指導教官名 (学生・院生の場合)	(和文)
国際会議発表のねらい (100字程度)	(和文例) 建築と木材保存の関係について、研究成果を国際会議で発表することによって、幅広い意見やアドバイスを貰えることを期待し、それを今後の仕事に生かしたい。更に、視野を広げたいと思います。
日本木材保存協会への 寄与について (100字程度)	(和文例) 国際木材保存会議での経験を活かし、日本木材保存協会の年次大会等では、より良い発表をして行きたいと思います。

